



第14回 東京六大学対抗ロード(クリテリウム)大会

2019年度 全日本学生ロードレースカップシリーズ第8戦 浮城のまち行田ラウンド

2019年11月24日(日) 埼玉県行田市・行田総合運動公園周辺 周回コース(1周2km)

主催:東京六大学対抗自転車競技大会実行委員会/日本学生自転車競技連盟 運営協力:一社)埼玉県自転車競技連盟

後援:行田市 行田市教育委員会 行田市体育協会 行田商工会議所 埼玉県議会 行田市議会

公益財団法人 行田市産業・文化・スポーツいきいき財団

Communiqué.02

大会チーフコミッサー 荒井 純一

1. 各カテゴリーごとの周回数(距離)および組分け

各カテゴリーのエントリー人数をふまえて、下記の周回数(距離)/組分けにより競技を行う。(大会時程表を参照)

- ・男子クラス1……15周回(30km)／1組
- ・男子クラス2……10周回(20km)／2組
- ・男子クラス3……6周回(12km)／3組

※女子(2名)については、男子クラス3A組と同時発走にて行う。



2. ゼッケン・フレームプレートの取付け

(1)ゼッケンの装着は一般規則に準じる。(右図参照)

- ・ゼッケンは大会終了後、すみやかに大会本部に返却すること。
- ・未返却・紛失は、1,000円のペナルティーとなる。

(2)フレームプレートは、フレーム前部中央に付けることを原則とする。

中央に取り付けられず左右に寄ってしまう場合は、左側に寄せること。また、どうしてもフレーム前部に取り付け不可能な場合、シートピラーへの取付けを認めるが、脚で隠れない様に突き出した位置に固定のこと。

3. ニュートラリゼーションについて

審判員により確認された認められる事故の場合、最後の3周を除き1周のニュートラリゼーションが与えられる。

4. 飲食料の補給について

大会要項に記載の通り、飲食料の補給は認めない。

5. 器材交換(ピット)について

- (1)競技中の器材交換は、スタートフィニッシュ地点付近に指定されたピットエリア(詳細は当日指示)でのみ、地上にいるチームスタッフからの器材提供・修理支援を認める。
- (2)落車の原因となるので、ピット区間以外での器材修理および交換は認められない。

6. レースの失格・除外について

- (1)原則として、毎周回S/F地点で先頭より30秒遅れた選手は、周回遅れになると見なされ、失格とします。
- (2)周回遅れで失格となった選手は、自らゼッケンを外して(フレーム・プレートは外さない)、競技の妨げにならない様にコース外へ出ること。(特に、コースの逆走は絶対にしないこと。)
- (3)自主的に競技を途中棄権した選手は、フィニッシュエリアの審判に必ず棄権の旨を伝えること。通告のない場合はペナルティーとなる場合があるので注意すること。

7. その他

- (1)学連のジュニア選手のギヤ比の制限は行わない。
- (2)公道を走行可能な装備(ベルおよび後方反射板もしくは反射テープ)を義務付ける。(RCS共通事項)
- (3)映像ユニット等を自転車に付加して走行する場合、JCF競技規則第16条3.(2)d)④規定を順守のこと。
なお、本大会レース中に撮影された映像の著作権は、原則、日本学生自転車競技連盟に帰属とします。
- (4)RCSポイント総合順位リーダーは、リーダーズジャージを着用して、スタートしなければならない。

以上